

「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」のご案内

埋蔵文化財センターのある西神中央公園は約 16 ヘクタールの広さがあり、およそ 3,500 本の樹木が植えられています。昔の人々の生活上で、木は大切な役割を持っていました。

埋蔵文化財センターには昔の人々が使った色々な木製品が展示されています。そこで、昔の人々の生活と木について考えながら、公園の中にある樹木を探して歩く、そんな「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」をしてみませんか。

◆「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」とは

オリエンテーリングとは地図と磁石を使い、定められた目標地点に到着する時間を競う屋外競技の一種です。「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」ではチェックポイントの番号と地図が書かれた〈オリエンテーリング案内図〉を見ながら、木の名前を答えていくものにアレンジしています。

◆「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」のやり方

〈オリエンテーリング案内図〉に□で表示してあるチェックポイントを探し、標石に書かれた問題を読み、答の木を探してその名前を案内図の（ ）に記入します。○で表示してあるチェックポイントも探して木の名前を（ ）に記入しながらチャレンジするコースを回ります。

※チェックポイントの木には、目印として朱色の朝顔形円筒はにわの「シンボルマーク」がついています。



◆やってみましょう！

- ①<オリエンテーリング案内図>を埋蔵文化財センターの受付で受け取ってください。
- ②<オリエンテーリング案内図>の3つのコースからチャレンジするコースを決めましょう。
- ③出発時間を記入し、コースを回り終わったら到着時間を記入します。
- ④受付で日付入りスタンプを押してもらい、正解一覧表（1グループ1枚、1団体に複数のグループがある場合はそのグループの数）と記念品（参加者1人あたり1つずつ）を受け取りましょう。

◆グループでオリエンテーリングをより楽しんでいただくためには

- ①参加者で順位を競う場合、かかった時間と正解の数を加味して順位をつけるのも一つの方法です。色々と工夫してください。

※例：参加者10人の場合

Aさん 時間：1位→10点 正解：1個→1点

合計→11点

Bさん 時間：2位→9点 正解：5個→5点

合計→14点

このようにして合計点の多い順に最終的な順位を決めます。

- ②オリエンテーリング中は、けがや事故のないように十分注意してください。危険なことや公園を利用する他の人の迷惑になることはやめてください。
- ③グループ独自のコースやルールを考えたり、時間を限らず散歩感覚で回ってみたり、自由に楽しんでください。

神戸市埋蔵文化財センター

オリエンテーリング参加メンバー表

No.	氏 名	No.	氏 名
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

チャレンジするコース（○を付けてください。）

- ・ 食の文化コース
- ・ 住と道具の文化コース
- ・ 人々に親しまれた木の歴史コース

特定課題 番号 []（□で表示している標石のあるチェックポイントです。
課題を2つ以上にしてもいいでしょう。）

回 答 欄	
-------------	--

『オリエンテーリング案内図』に口で表示しているチェックポイントの標石には、下記の文章があります。オリエンテーリング中の学習にご利用いただける他、特定課題を設定される場合などにもご活用ください。

食の文化コース

No. 1 『手てを加くわえずに食たべていたもの』

ヤマモモ

おおむかし ひとびと のやま は き くさ み と しょくりょう
大昔の人々は、野山に生える木や草の実を採って食料にしており、それらの生えている場所や、実のなる季節をよく知っていました。モモやウリの種などが、遺跡からしばしば発見されています。この公園の中には、ヤマモモのほか、ヤマボウシやオニグルミなどが植えてあります。みんなでさがしてみよう！

No. 2 『火ひをとおすと食たべられるもの』

クリ

き くさ み に や た
木や草の実には、煮たり、焼いたりすると食べられるものがあります。この公園の中には、カヤやクリ、イチイガシなどが植えてあり、おおむかし ひとびと せいかつ
した遺跡からもこれらの木の实が発見されることがあります。さあ、公園のどこにあるか探してみよう！

No. 3 『洗しぶみ（あく）をとると食たべられるもの』

アカガシ

き くさ み しぶ みず つ かわ
木や草の実には、洗みがあるものがあり、水に漬けたり、皮をむいたりして、それを取らないと食べられないものがあります。しかし、これらは、ひとびと きちよう
な食べ物であり、洗みをとる方法にいろいろな工夫がされていました。この公園
の中には、アカガシ、コナラ、クヌギ、トチノキなどの木があります。さて見つかるかな？

No. 4 『薬くすりや洗剤せんざいなどになるもの』

エゴノキ

木きや草くさの実みのなかには、病気びょうきや、けがなを治なおしたり、染料せんりょうや香料こうりょう、衣類いるい、虫よけむしなど人々ひとびとの生活せいかつに必要なひつようものもあります。エゴノキの実みからは、洗剤せんざいの原料げんりょうが採れ、また、クスノキは、香りかおが強つよく、樟腦しょうのうとよばれる虫よけ薬むしがとれます。神戸市こうべし内ないからは、3000年ねん以上じょう前のクスノキの大木たいぼくが発掘はっくつされ、今いまでも強つよい香りかおがしています。さて、これらの木きは公園こうえんのどこうに植うえてあるでしょう。

住と道具の文化コース

No. 5 『燃える木も（発火具き）（炭材はっかぐ）（炭材すみざい）』

クヌギ

大昔おおむかしには、マッチやライターなどはありませんから木きと木きをこすりあわせて、火ひを起おこしていました。その木きにはヒノキなどの火ひが付きやすく、よく燃える木きが選ばれていました。また、クヌギ、コナラなどの木材もくざいを蒸し焼きむにして、木炭もくたんにして生なまの木きよりも火力かりよくを強つよくして燃もやしていました。どんな木きか探さがしてよく見みてみよう。

No. 6 『狩りか・いくさに使う木つか（弓矢き）（弓矢ゆみや）』

イヌマキ

縄文時代じょうもんじだい（約1万年やく前まんねん）以来いらい、人々ひとびとにとって弓矢ゆみやは、動物どうぶつを狩かったり、いくさをするためになくってはならない道具どうぐでした。弓ゆみを作る材料つくざいりょうとしては、イヌガヤやイヌマキの木きの枝えだがよく使つかわれていたのが発掘調査はっくつちょうさで明らかあきになってきています。さて、どんな木きかな？

No. 7 『田たを耕たがやす道具どうぐ（農具のうぐ）』

シラカシ

今いまから約2300年前やくの弥生時代やよいしじだいに、米こめを作る技術つくぎじゆつが中国ちゆうごく・朝鮮半島ちゆうせんはんとうから伝つたわっ

てきました。それとともに、^{すき くわ}鋤・^{すいでん}鍬などの^{たがや}水田を^{どうぐ}耕す^{のうぐ}道具（^{つく}農具）も作られるようになりました。これらの^{どうぐ}道具は、^{じめん}地面を^{たがや}耕すことができるように、シラカシ、アラカシ、アカガシなどの^{かた ざいしつ}堅い^{もくざい}材質の^{えら}木材が^{こうえんない}選ばれました。公園内にたくさん^う植えてありますので^{さが}探してみましよう。

No. 8 『^{おの え}斧の^{つか き}柄に^{こうぐ}使う木（^{こうぐ}工具）』

ユズリハ

^{やよいじだい}弥生時代（^{ねんまえ}約2300～1700年前）になると、^{き き}木を^{たお}切り倒すには、^{てつ}鉄の^{おの いし}斧と石の^{おの りょうほう}斧の^{つか}両方が^{いし}使われていました。石の^{おの}斧は、^き切る^{ちから}力は^{てつ}鉄の^{おの}斧より^{おと}劣りますが、^な慣れた人ならば^{ひと}大きな^{おお き}木も^き切り倒せたようです。斧の^{おの え}柄には、ユズリハ、サカキ、ヤブツバキなどの^{だんりよく}弾力のある^き木が^{えら}選ばれていたことが^{はっくつちようさ}発掘調査からわかりました。さて、^{こうえん}公園の^うどこに^う植えてあるのでしょうか。

No. 9 『^{だっこく}脱穀の^{どうぐ}道具（^{のうぐ}農具）』

クスノキ

^{こめづく}米作りを^{はじ}始めた^{やよいじだい}弥生時代（^{ねんまえ}約2300年前）以降、^{いこう}人々は、^{しゆうかく}収穫した^{こめ}お米などの^{から}穀をとる^{ほうほう}方法として、^{たてぎね}竝杵と^{うす}臼を^{つか}使いました。これらの^{どうぐ}道具は、クスノキ、アカガシ、ヤブツバキなどの^き木から^{つく}作られたものが^{いせき}遺跡から^{はっけん}発見されています。さあ、^きどんな^{さが}木か探してみよう！

No.10 『^{だいどころ}台所・^{しょっき}食器に^{つか き}使う木（^ま曲げ物）（^{おけ}桶）（^{もの}くり物）（^{もの}ひき物）』

ケヤキ

^{だいどころ}台所で^{つか}使う^{うつわ}器や^{しょっき}食器の^{おお}多くは、^き木で^{つく}作られたものでした。たとえば、^かバケツの^か代わりに^{いた}スギ、^{まる}ヒノキなどの^{そこ}うすい^ま板を^{もの}丸く^まつなげて^{もの}底をつくった「^ま曲げ物」、^{いた}板を^{えんけい}円形に^く組み^あ合わせた「^{おけ}桶」などを^{つか}使っていました。また^かケヤキ、^きクスノキなどの^き木を、^{まわ}ろくろを^{まる}回して（^ぬひいて）^{つく}丸く、^{わん}くり^{はち}抜いて^{はち}作った^{わん}お椀や^{はち}鉢なども^{つか}使っていました。さて、これらの^き木は^{こうえん}公園の^うどこに^う植えてあるのでしょうか？

No.11 『ひつぎにつかう木（木棺）』

コウヤマキ

大昔の有力者は亡くなると、ひつぎに納められ、お墓に葬られました。特に、古墳時代（約1700～1400年前）には、丸太を二つに割り、中をくり抜いた大きな木のひつぎがつくられました。ひつぎには、コウヤマキという木が関西では多く使われたことが、当時のお墓を発掘してわかりました。さて、どんな木か探して確かめてみましょう！

No.12 『紙になる木・紙に代わる木（木簡）』

ミツマタ（標石だけがあります。）

古墳時代の終わりごろ（約1400年前）木の繊維から紙を作る技術が朝鮮半島から伝わってきました。また、この時期の少し前ぐらいから日本では、漢字を使って記録を残すということができるようになりました。しかし、紙は貴重で高価なものであり、かんたんなメモや荷札などは、ヒノキやスギなどの木で作られた木札（木簡）が使われました。また、紙の原料としての木はミツマタ、コウゾなどが有名です。木を探してよく観察してみよう！

No.13 『家を造る木（建築材）』

スタジイ

大昔の人々が生活した家には、主に竪穴住居と掘立柱建物の二種類があります。竪穴住居は地面を円または四角に掘りくぼめ、その中に柱をたて、屋根を地面までふいたものです。この建物は、埋蔵文化財センター内に復元しています。掘立柱建物は、地面に柱を埋め込んで立て、その上に床と壁、屋根をつけるものです。これらの家には、ヒノキ、クヌギ、ツガ、スタジイ、コウヤマキ、スギなどの木が多くつかわれています。さて、公園のどこに植えてあるのでしょうか？

No.14 『丸木舟を作る木（丸木舟）』

カヤ（標石だけがあります。）

すでに縄文時代（約6000年以上前）から、人々は、大きな木を二つに割り、なかをくり抜いてカヌーのような形の丸木舟を造りました。このような舟で、川や湖だけでなく海にも漕ぎ出し、人や物を運び、魚を獲ったりしていました。丸木舟を造る木はカヤ、スギなどが多かったことが発掘調査でわかってきました。さて、どんな木かな？探してみよう！

人々に親しまれた木の歴史コース

No.15 『四季に親しむ』

イチヨウ

日本には、コブシやイロハモミジなど大昔からあったものと、イチヨウやハクモクレンのように外国から人の手によって移植された植物もあります。大昔の人々は、自然の恵みをうけて、食料や、住居、道具に変えていきましたが、それと同時に風景の一部として、四季に咲く花や紅葉を愛し、大切に守り、育ててきました。わたしたちもまた、残された緑を大切にし、次の世代に伝えていかななくてはなりません。

「歴史と樹木の学習オリエンテーリング」正解一覧表

No. 1	① ヤマモモ ③ ヤマボウシ
No. 2	④ クリ ⑤ カヤ ⑥ イチイガシ
No. 3	⑦ アカガシ ⑧ コナラ ⑨ トチノキ
No. 4	⑩ エゴノキ ⑪ クスノキ
No. 5	⑫ クヌギ ⑬ コナラ
No. 6	⑮ イヌマキ
No. 7	⑰ シラカシ ⑱ アラカシ ⑲ アカガシ
No. 8	⑳ ユズリハ ㉑ ヤブツバキ

No. 9	㉒ クスノキ ㉔ ヤブツバキ
No.10	㉕ ケヤキ ㉖ スギ ㉗ ヒノキ
No.11	㉘ コウヤマキ
No.12	㉙ (ミツマタ 標石のみ) ㉚ コウゾ ㉛ ヒノキ
No.13	㉜ スダジイ ㉝ クヌギ ㉞ ヒノキ ㉟ ツガ
No.14	㊱ (カヤ 標石のみ) ㊲ スギ
No.15	㊳ (イチヨウ 標石のみ) ㊴ イロハモミジ ㊵ ハクモクレン ㊶ コブシ

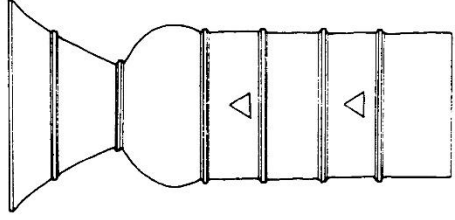
歴史と樹木の

学習オリエンテーリング

名前 _____

出発時間	到着時間	かかった時間
～	～	分
～	～	分
～	～	分

1. 食の文化
コース
2. 住と道具の
文化コース
3. 人々に親し
まれた木の
歴史コース



シンボルマーク

公園内には、人類の歴史と深いかわりのある樹木が植えられています。人類が自然とともに生活し、それぞれの樹木をどのようにして利用してきたか、オリエンテーリングをしながら学習してください。

学習オリエンテーリングには、次の3コースがあります。

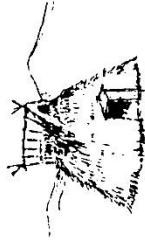
1. 食の文化コース
(所要時間約30分)
2. 住と道具の文化コース
(所要時間約45分)
3. 人々に親しまれた木の歴史コース
(所要時間約15分)



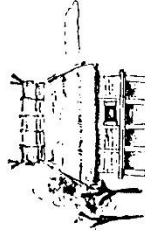
石斧



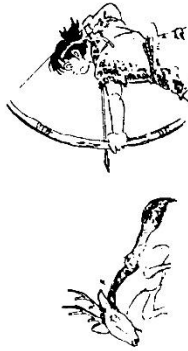
曲げ物



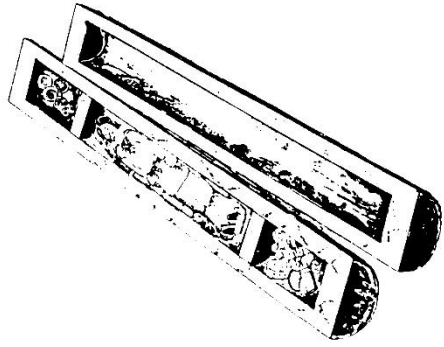
竪穴住居



掘立柱建物



弓矢



木箱



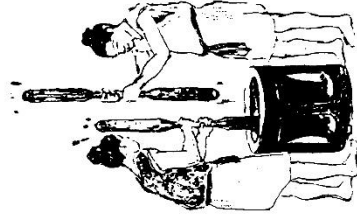
木の実を割る



木筒



農具



脱穀

[学習オリエンテーリングのやり方]
 (1)好みのコースを選んで、シンボルマークのついた木を探しましょう。
 (2)プレートの番号と同じ欄に木の名前を書こう！
 (3)まわりおいたら、正解の用紙を見てチェック欄に○×をいれましょう。
 ☆どれくらいかかった時間でまわられるか、時計塔で時間をはかってみましょう。

*公園は、多くの方が利用されますので、木や草をいためたり、花や実などをとらないようにお願いします。

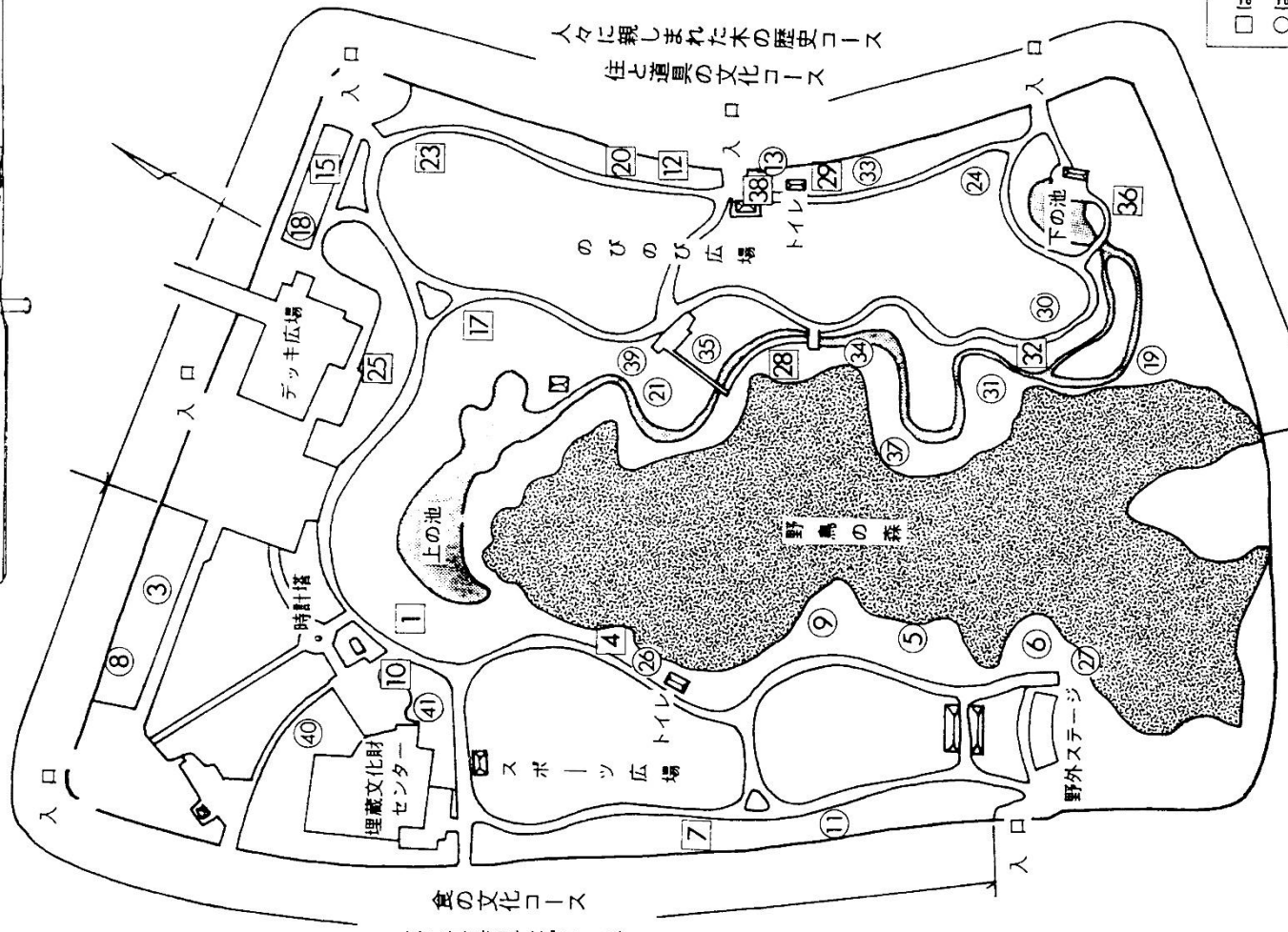
オリエンテering案内図

番号 木の名まえ 旗が欄
 脱穀の道具「農具」(No.9)] []
 23 [] []
 24 [] []
 台所・食器に使う木「くり物」

「ひき物」「曲げ物」(No.10)] []
 25 [] []
 26 [] []
 27 [] []
 ひつぎに使う木「木棺」(No.11)] []
 28 [] []
 紙になる木・紙にかわる木「木筋」(No.12)] []
 29 [] [] (標石のみ)
 30 [] []
 31 [] []
 家を造る木「建築材」(No.13)] []
 32 [] []
 33 [] []
 34 [] []
 35 [] []
 丸木舟を造る木「丸木舟」(No.14)] []
 36 [] [] (標石のみ)
 37 [] []

住と道具の文化コース

歴ま人 四季に親しむ (No.15)] []
 史れ々 38 [] [] (標石のみ)
 コたに 39 [] []
 |木親 40 [] []
 スのし 41 [] []



人々に親しまれた木の歴史コース
 住と道具の文化コース

食の文化コース 住と道具の文化コース

番号 木の名まえ 旗が欄
 手を加えずに食べていたもの (No.1)] []
 1 [] [] ヤマモモ

3 [] []
 火をとおすと食べられるもの (No.2)] []
 4 [] []
 5 [] []
 6 [] []
 渋み(あく)をとると食べられるもの (No.3)] []
 7 [] []
 8 [] []
 9 [] []
 葉や洗剤になるもの (No.4)] []
 10 [] []
 11 [] []

食の文化コース

燃える木「発火具」「炭材」(No.5)] []
 12 [] []
 13 [] []
 持ち・いくさに使う木「弓矢」(No.6)] []
 15 [] []

住と道具の文化コース

田を耕す道具「農具」(No.7)] []
 17 [] []
 18 [] []
 19 [] []
 斧の柄に使う木「工具」(No.8)] []
 20 [] []
 21 [] []

食の文化コース

□は石のプレートで、解説のあるポイント
 ○はシンボルマークのついたプレート表示のポイント